

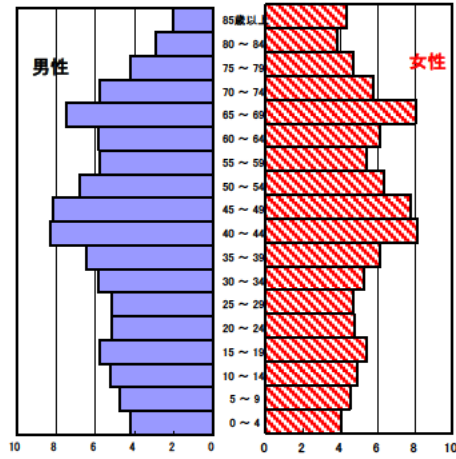
鈴鹿市の現状

1 人口の状況

人口ピラミッド比較
昭和60年(1985年)



平成28年(2016年)



人口静態(平成28年10月1日現在) 単位:人

	計	男性	女性
人口数	196,373	97,492	98,881
65歳以上人口	46,683	21,091	25,592
(構成比 %)	23.8 [28.2]	21.6 [25.3]	25.9 [30.9]
世帯数	78,496	[725,366]	
一世帯人数	2.50	[2.49]	

[]内は三重県

人口動態(平成28年)確定数 単位:人

	計	男性	女性
出生数	1,586	814	772
死亡数	1,724	867	857
出生率(人口千対)	8.08	[7.30]	
死亡率(人口千対)	8.78	[10.97]	

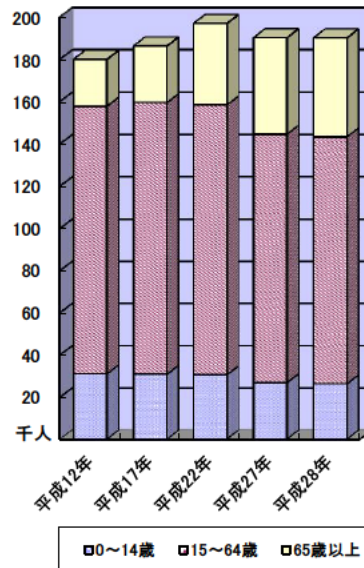
[]内は三重県

3区分別人口の推移

単位:人

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)
0~14歳	30,852	30,510	26,758	26,279
15~64歳	128,591	127,780	117,737	117,003
65歳以上	26,707	38,500	45,500	46,683

3区分別人口の推移



2 母子保健の状況

人口動態(平成28年)確定数

単位:人

	出生数		乳児死亡数(再掲)		死産数	周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数
	低体重児	新生児		新生児				
鈴鹿市	1,586	157	2	1	39	9	1,104	407
[率]	[8.1]	[9.9]	[1.3]	[0.6]	[24.0]	[5.7]	[5.6]	[2.1]
三重県	13,202	1,214	22	12	319	75	8,245	2,934
[率]	[7.3]	[9.2]	[1.7]	[0.9]	[23.6]	[5.7]	[4.6]	[1.6]

出生率(人口千対)、低体重児(出生百対)、乳児死亡・新生児(出生千対)

死産(出産千対)、周産期死亡(出生千対)、婚姻・離婚(人口千対)

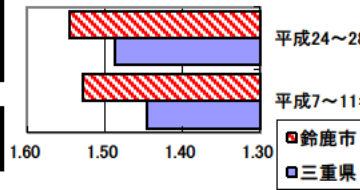
合計特殊出生率

	平成7～11年	平成24～28年
鈴鹿市	1.53	1.55
三重県	1.45	1.49

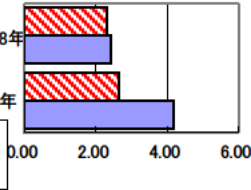
乳児死亡率(出生千対)

鈴鹿市	2.64	2.31
三重県	4.17	2.42

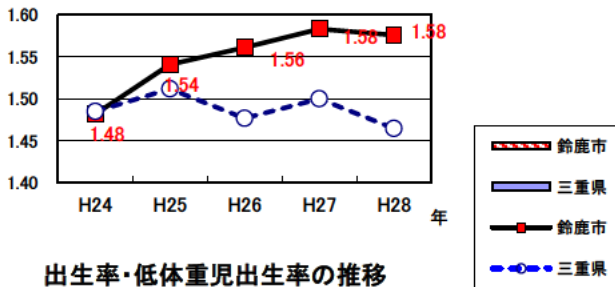
合計特殊出生率の推移



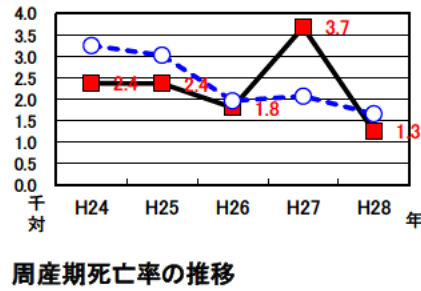
乳児死亡率の推移



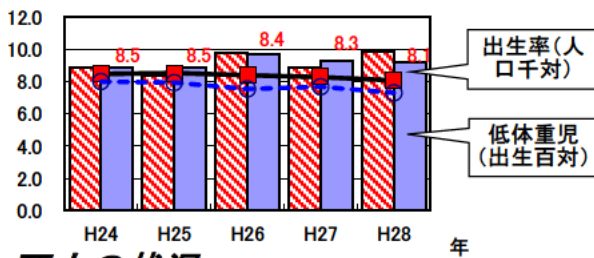
合計特殊出生率の推移



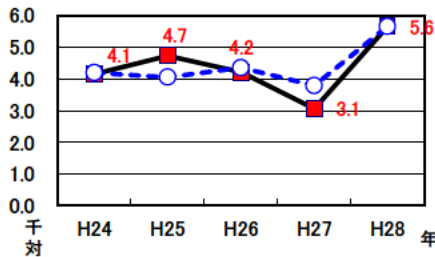
乳児死亡率の推移



出生率・低体重児出生率の推移



周産期死亡率の推移
(出産千対)



3 死亡の状況

年齢調整死亡率 人口10万対

死因	男性	女性
悪性新生物	150.8 [160.2]	79.4 [81.0]
心疾患	58.2 [65.6]	32.2 [34.6]
脳血管疾患	39.0 [39.1]	26.5 [22.7]
交通事故	6.0 [6.8]	2.6 [2.2]
肝疾患	6.0 [7.6]	2.9 [2.9]
糖尿病	6.4 [5.8]	3.6 [2.9]
高血圧	2.1 [1.5]	2.0 [1.4]

40歳～64歳における生活習慣病死亡率

	計	男性	女性
鈴鹿市	167.2	210.7	123.1
三重県	183.6	238.2	129.7

直近5年間の平均

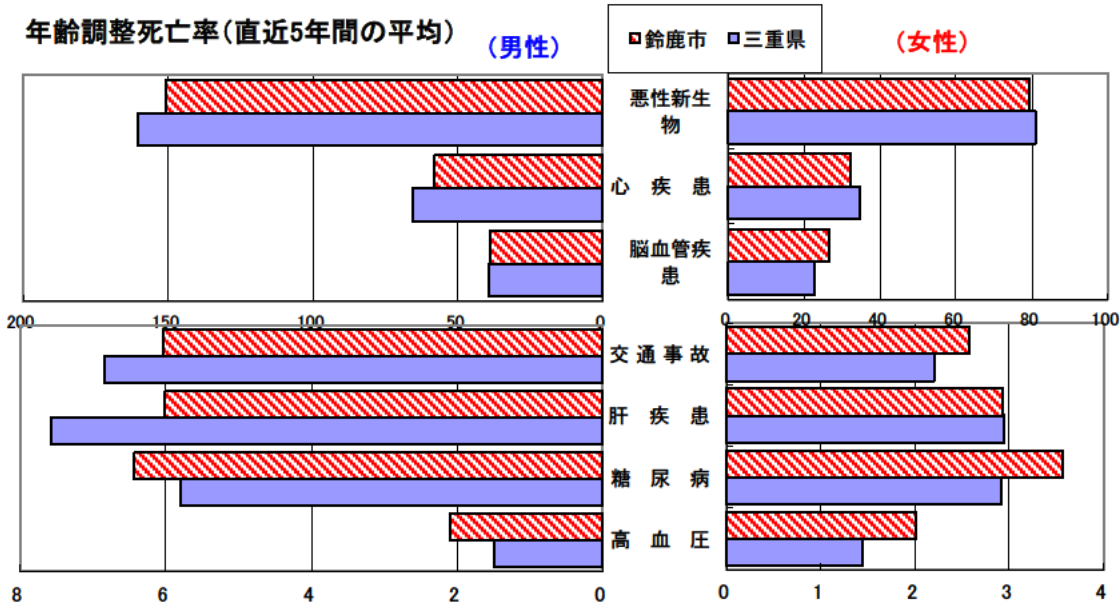
自殺者数

	計	男性	女性
鈴鹿市	177	138	39
人口10万対	17.9	28.1	7.9
三重県	1,632	1,132	500
人口10万対	17.9	25.5	10.7

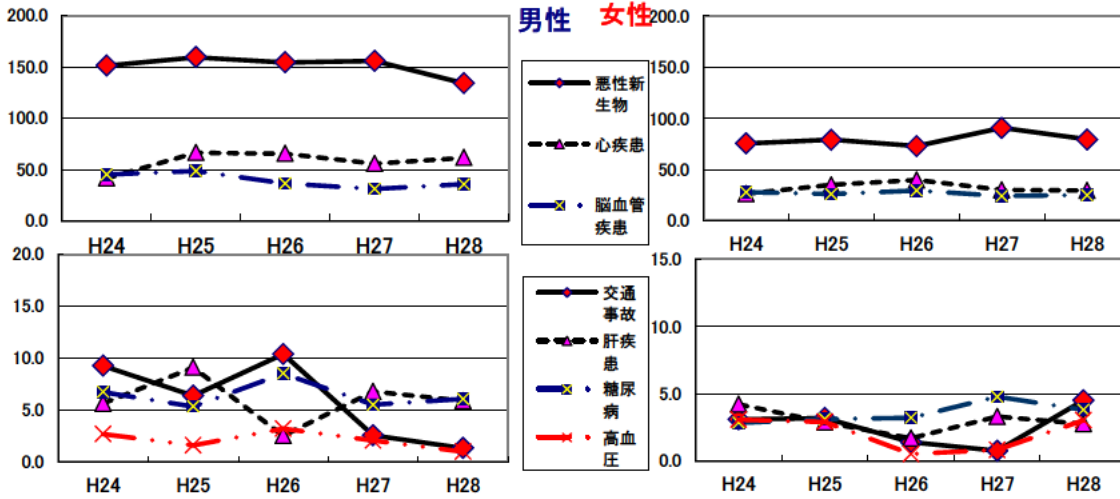
直近5年間の平均

直近5年間の平均(年齢調整は昭和60年モデル人口を使用)
[]内は三重県

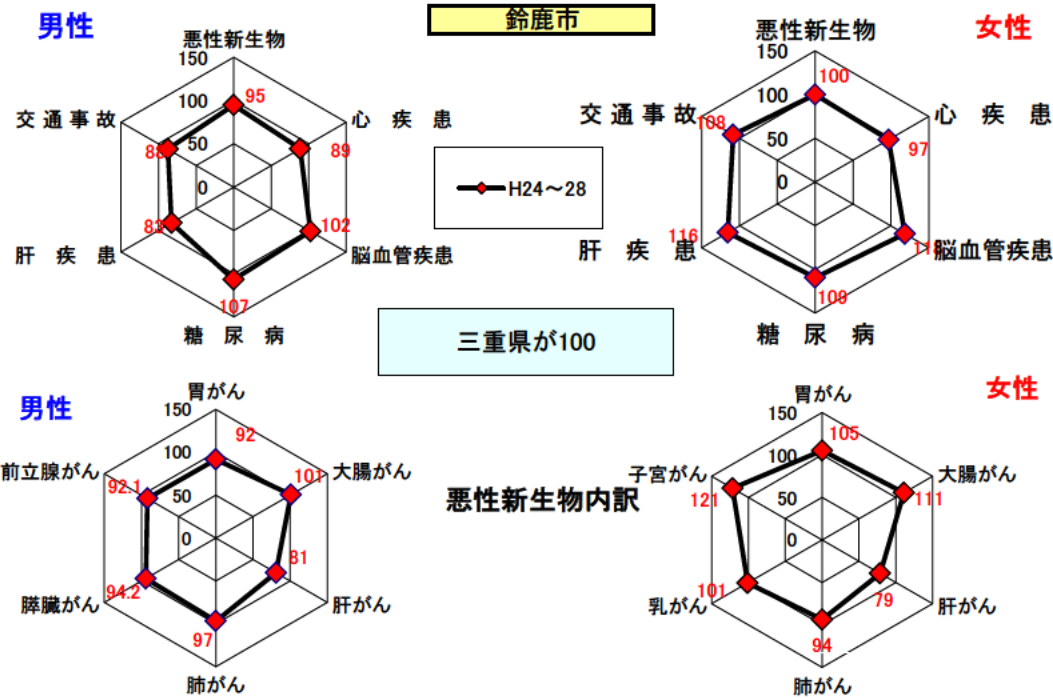
年齢調整死亡率(直近5年間の平均)



年齢調整死亡率の年次推移



SMR(標準化死亡比)



出展: みえDataBox「人口・世帯の動き」(対象年10月1日現在)
 厚生労働省「人口動態調査交付データ」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(対象年1月1日)
 注: SMRに使用した人口及び死亡数は当該年を含む5年間の合計

$$\text{一世帯人数} = \frac{\text{みえDataBox「人口・世帯の動き」の人口}}{\text{総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」の世帯数}}$$